

徳之島事務所（令和 8 年 8 月分）管内情勢

農林水産業関連

1 令和 9 年産抑制かぼちゃ栽培講習会を開催

7 月 30 日に、令和 9 年産抑制かぼちゃ栽培講習会を開催し、生産者 19 人及び関係者 7 人の計 26 人が参加した。

会では、セグロウリミバエによる被害が深刻化していることを踏まえ、農業普及課からは、栽培暦とセグロウリミバエの生態と対応について情報提供を行い、伊仙町役場からは栽培履歴記帳について説明した。まん延防止対策として、今後、島外出荷を行う際には農薬散布履歴報告書の提出が必要であり、その確認印としてシールの貼付が求められる予定である。

セグロウリミバエの発生により、徳之島のかぼちゃの生産量は減少している。今後も講習会や巡回指導等を通じて適切な防除対策の徹底を呼びかけ、生産者の収益確保と被害拡大防止に努めていく必要がある。また、家庭菜園においても発生源となることから、適切な防除の実施や管理指導に取り組んでいく。

2 徳之島農業青年クラブによる子牛セリ活性化プロジェクトがスタート

毎月開催される子牛セリ市において、8 月 2 日に徳之島農業青年クラブが第 1 回子牛セリ活性化プロジェクトとして、かき氷の販売を実施した。

当日は厳しい暑さの中での開催となり、多くの生産者や市場関係者に利用され、利用者からは「暑い中での出荷作業だったので助かった」といった声が聞かれた。青年クラブ活動の PR やセリ市の活性化が期待される本取組は、今後も毎月の子牛セリ市に合わせて継続していく予定である。青年クラブでは、本活動を通じて地域農業の活性化とクラブ活動の充実を図っていく。

3 町営営農研修施設の入退所式を開催

7月31日に伊仙町、8月12日に徳之島町において、町営営農研修施設の入退所式が行われた。研修では、園芸技術を中心に農業経営について学び、研修期間は1年間（徳之島町は2年間）となっている。徳之島町では1人が入所し、伊仙町では2人が研修を修了して1人が入所した。

式では、修了生による抱負や入所者による所信表明が述べられ、就農に向けた意気込みが語られた。一方で、研修を通じて農業経営の厳しさを実感し、就農を断念する人もみられた。

天城町では、8月31日に退所式が行われる予定であったが、台風18号の影響により延期となった。なお、今年度の退所者は2人である。